

氏名	久保田圭祐	部署	研究開発センター	職名	特任助教
研究分野	運動器理学療法, 基礎理学療法				
学位	博士 (健康科学)				
学歴	平成21年4月-平成25年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 平成28年4月-平成30年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修 平成30年4月-令和4年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程				
経歴	令和4年4月-埼玉県立大学 研究開発センター 兼 保健医療福祉学部 特任助教 令和4年12月-埼玉大学大学院理工学研究科 特任准教授				
所属学会 (役職)	日本理学療法士協会, American physiological society, Osteoarthritis Research Society International, IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, Society for the Neural Control of Movement				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	The investigation on an analysis method for co-activation of knee osteoarthritis utilizing normalization of peak dynamic method.	共著	あり	○	Gait and posture, 101, 48-54	Keisuke Kubota Moeka Yokoyama Katsuya Onitsuka Naohiko Kanemura
2	Exploring the modification factors of exercise therapy on biomechanical load in patients with knee osteoarthritis: a systematic review and meta-analysis.	共著	あり	○	Clinical rheumatology	Moeka Yokoyama Hiroataka Iijima Keisuke Kubota Naohiko Kanemura
3	Compensatory relationship of mechanical energy in paretic limb during sit-to-stand motion of stroke survivors.	共著	あり	○	Human Movement Science, 88	Hiroki Hanawa, Keisuke Hirata, Taku Miyazawa, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Tsutomu Fujino, Naohiko Kanemura
4	Clinical utility of markerless motion capture for kinematic evaluation of sit-to-stand during 30s-CST at one year post total knee arthroplasty: a restospective study.	共著	あり	○	BMC Musculoskeletal Disorders, 24	Katsuya Onitsuka, Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Taku Miyazawa Toyohiro Hamaguchi, Hiroto Taniguchi, Naohiro Usuki, Satoshi Miyamoto, Ken Okazaki, Kenji Murata, Naohiko Kanemura
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	高齢者の運動制御則の変化に基づく筋協調活動パターン	共同	第27回 日本基礎理学療法学会学術大会, 大阪		○久保田圭祐, 横山萌香, 鬼塚勝哉, 平田恵介, 埜大樹, 宮澤拓, 藤野努, 金村尚彦	2022. 10
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	筋シナジーからひも解くヒトの動きと臨床展開 (JSEK 2022 シンポジウム)	単著	大阪		久保田圭祐(シンポジスト)	2023. 3
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省 科学研究費補助金 (研究活動スタート支援)	軽度変形性膝関節症者における脚力発揮パターンに基づく筋同時収縮メカニズムの解明		研究代表者	2022-2023年	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理学実習		12コマ	実習課題の準備から実施までの全てを受け持った。学生が安全かつ順序立てて実習を実施することに貢献した。
2	理学療法学概論		1コマ	自身のこれまでのキャリアを通じて、理学療法士としての役割に対する理解を深める講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	春日部市立看護専門学校（非常勤講師）	2022.4-2023.3	人体の構造と機能に関する講義	
2	人間総合科学大学（ゲスト講師）	2022.4-2023.3	理学療法学研究法に関する講義	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	該当なし			
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			